

南河内普及だより

富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村

第209号

令和7年3月

南河内農と緑の総合事務所
農の普及課 発行

事務所HP バックナンバー

209号のトピックス

- ・いちごアカデミーを開催しました／いちごフェスタのお知らせ
- ・大阪版認定農業者支援事業(導入事例)のご紹介
- ・「虹の雫ブランド研究会」設立総会を開催しました
- ・新「農の匠」のご紹介

いちごアカデミーを開催しました／いちごフェスタのお知らせ

南河内農の普及課では、南河内地域の活性化を図るため、いちごでの新規就農者の育成と南河内いちごの消費拡大に取り組んでいます。

新規就農者の育成においては、いちごに特化した座学と栽培実習を行う「いちごアカデミー」を平成30年から実施しています。これまでに、22名が南河内地域で新規就農を果たすことで、管内のいちご生産者が増加し、産地の生産力が強化されることとなりました。

また、多くの方が南河内いちごのファンとなっただけのよう、南河内いちごのPRイベントの開催等を行っています。3月8日(土)には「南河内いちごフェスタ2025@てんしば」と題し、大阪市天王寺区にあるてんしばで、南河内のいちご生産者によるPR販売や、いちごを贈ることで感謝の気持ちを伝えるステージイベントなどを行う予定としています。

春のお出かけに、また旬の南河内いちごを味わいにぜひお越しください。



▲いちごアカデミー
こちらから



▲いちごフェスタ
こちらから



▲いちごアカデミーの様子



▲昨年のいちごフェスタの様子

大阪版認定農業者支援事業(導入事例)のご紹介

大阪府では、農業用機械・施設の整備を通じて経営を発展させる農業者を支援するため、大阪版認定農業者支援事業を実施しています。

共同で利用するコンバインなどの「農業用機械」や集出荷施設等の「共同利用施設」、レジシステムなど「直売所関連施設」の整備に利用できます。

【対象】大阪版認定農業者で組織する団体・農業法人等

【補助率】事業費の1/3以内

※特定の品目で革新的農業技術を導入する場合は、優先的に採択されます。

今年度本事業を活用した河内長野市内の団体は、共同で管理を行う果樹園等で使用するラジコン草刈り機を導入され、農作業の軽労化や安全確保等に取り組まれました。

みなさまも生産方式の合理化や、経営規模拡大等のため、ぜひ本事業のご活用を検討ください。

※補助事業活用にあたっては、様々な要件があるとともに、大阪府や市町村の予算の都合上、機械購入や施設整備の時期に制限があります。まずは、各市町村の農政担当部局や農の普及課にご相談ください。



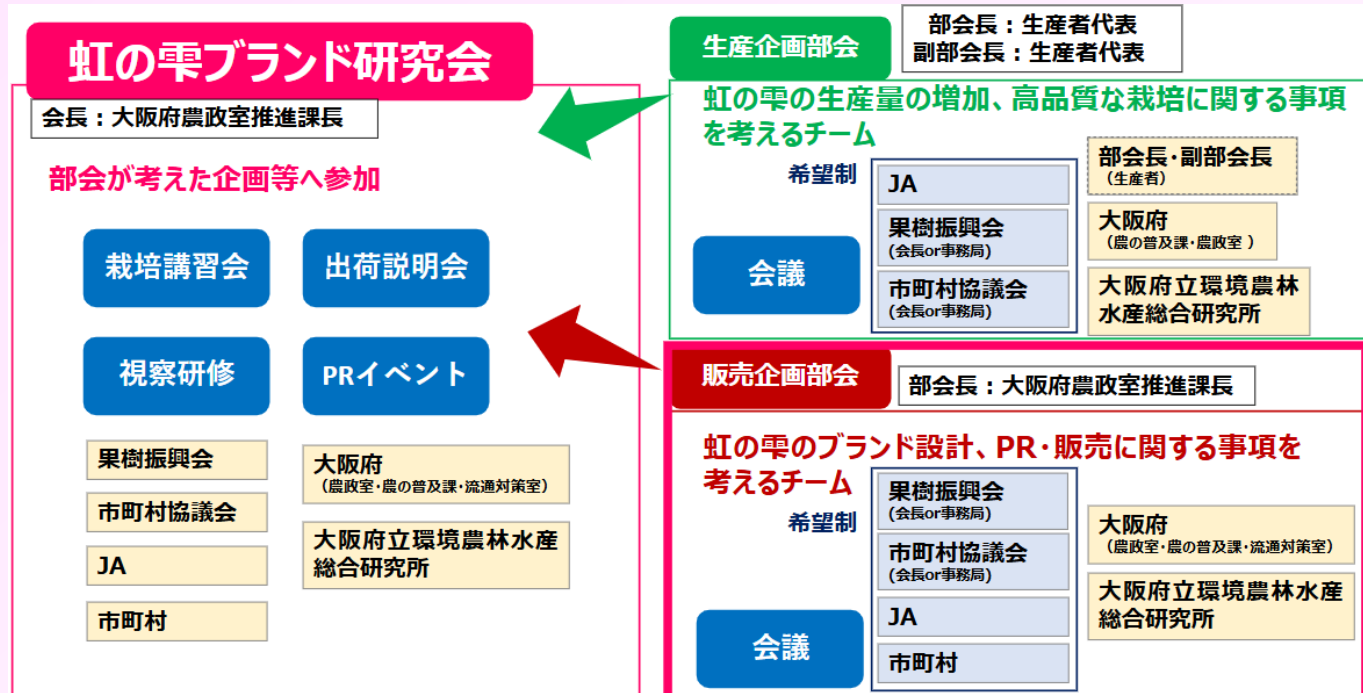
詳しくは
こちら

「虹の雫ブランド研究会」設立総会を開催しました

11月27日（水）、「虹の雫ブランド研究会」（以下、「研究会」）の設立総会を開催しました。本研究会は、生産者と関係機関が一丸となり「虹の雫」のブランドを確立し、消費者への認知を広げることを目的としています。研究会には、生産者をはじめ、府果樹振興会、市町村果樹振興会、市町村、JA、（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所、大阪府が参画し、総勢101名の生産者が加入しました。

総会では、「虹の雫」を育成した段正幸氏をお招きし、品種育成の背景や1973年の育種当時のエピソードについて貴重なお話を伺いました。当時の熱意や試行錯誤の過程を知ることによって、参加者一同、ブランド発展への思いを新たにしました。

研究会では、「生産企画部会」と「販売企画部会」の二部門を設置し、それぞれの視点からブランドの確立に向けた取り組みを進めていきます。「生産企画部会」では、生産量の安定化や高品質化に向けた技術的な検討を行い、「販売企画部会」では、ブランド設計やPR・販売促進について協議を進めます。今後も、生産者と関係機関が一体となり、「虹の雫」の魅力をより多くの方々に届けられるよう取り組んでまいります。



新「農の匠」のご紹介 南信宏氏(富田林市)

今回は新たに「農の匠」に認定された南信宏氏（富田林市）を紹介します。南氏は水稲1ha、施設・露地でいちごやナス等の野菜を年間50品目以上、約1haを栽培されています。

南農園は信宏氏で4代目であり、野菜の施設栽培や自身の直売所の開設など経営改善に向けて先進的に取り組んでこられました。現在は、水稲、ナス、キュウリ、いちご、みかんなど約50品目栽培することで、出荷品を切らさないようにし取引先のニーズに応えていらっしゃいます。

野菜の施設栽培では、温度センサー付自動換気装置を活用した適正な温度管理を始め、ハウス内環境（温度、湿度、CO2濃度）を計測・グラフ化を行うことで品質の高い農作物を栽培しておられます。水稲栽培においては、「大阪エコ農産物」の認証を受けた「東條ほんわか米」を栽培しており、環境にやさしい農業に取り組んでおられます。また、地域内で先駆けて共同購入したドローンを使い省力的な栽培も取り組まれています。



▲南信宏氏

普及だより俳壇

剪定やゆたかに分かつ午前午後

